全国 検数労連

517号

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2
日港福会館 5 階
Tel 03(3733)5621　Fax 03(3733)5622
メール　rouren@kensu.jp
ホームページ　http://www.kensu.jp/
全国検数労働組合連合
書記局

第6回　検数労連16夏季一時金交渉10：00～10：30

16夏季一時金交渉、現到達をもって妥結を表明

支給日7月8日（金）を確認

【第6回16夏季一時金交渉】

前回の交渉で、両協会に対して『支給日の関係で機関手続きに入る旨を表明』した後、各地域から16夏季一時金中闘見解に対する意見を求め、左記の通り評価点・不満点・今後課題が出されましたが、全地域より『批准』を受けたことにより、7月4日（月）第6回交渉で16夏季一時金闘争について妥結を表明しました。

【16夏季一時金態度表明】

16夏季一時金要求について、現到達をもって妥結する。

今夏季一時金交渉は、協会事業収入の減少傾向のもとでの交渉となった。

組合は要求提出以降、今日まで約1ヶ月という短期間で職場からの一時金に対する切実な思いを交渉の中で訴えるとともに、日常不断の努力の積み重ねである。『仕事と収入の確保』運動への成果と日頃の労苦に応えるべく要求に沿った回答を提示するよう求めてきた。

その結果、全日検においては、昨夏比プラス回答、日検協会においては、昨夏比マイナス回答であったが、都市加算を組合要求に応じた回答提示に対して一定評価できる内容となった。しかしながら組合が要求していない全日検の『役付・特別評価・アルファ（調整）、日検協会の『アルファ（業績）』については大きな不満を残した。また、諸要求については、原資を伴う課題であり困難、国民的課題に対する態度表明についても理解が得られなく不満を残す結果となった。

今後の労使課題として、安定した検数事業基盤の確立に向け、経済情勢に翻弄されることなく、労使協力のもと情報を共有化し、適正な検数料金を収受していくことが重要となる。とりわけ、7月1日より実施された『船積み前コンテナ重量検査』については積極的に取り組まなければならない課題となる。また、産別協定履行に向けた『週休2日制』『時間外基礎分母の改定』『65歳定年制』に向けた労使協議については、本日以降、積極的に進めていくことを求める。

今後も組合員の『生活の安定』に向け、将来に亘り希望が持てる足腰作りの年と位置付け、協会方針である『品質向上』と組合方針である『仕事と収入の確保』運動に合致させた労使の積極的な取り組みで事業基盤を強化していくことが求められる。

7・10選挙行こう！

発言と行動が違う政治家。選挙のために党を渡り歩く政治家。政局優先で決められない政治にしてしまう政治家。多くの人は、こんな日本の政治でいいとは思っていません。なのに、こんな結果になってしまう。だから、どうせ選挙に行っても大して変わらない、また同じことの繰り返し、私には関係ない、等々いろんな理由で行かない気持ちは良くわかります。でも、投票に行かないと政治家は白紙委任状だと考えます。

【投票で政治を変えよう】

不満だから、不信だから行かないのに、結果は白紙委任。つまり、選挙結果を承認してお墨付きを与えてしまうのです。

そんなつもりじゃない。と言っても、それは皆さんの考え方。受け止める政治家と現実は、白紙委任の承認なのです。

それはヤダと思う皆さん。ぜひ投票に行きましょう。そして意思表示をしましょう。それだけではなく、それぞれの出来る形で、投票に行こうとひろめて行きましょう！

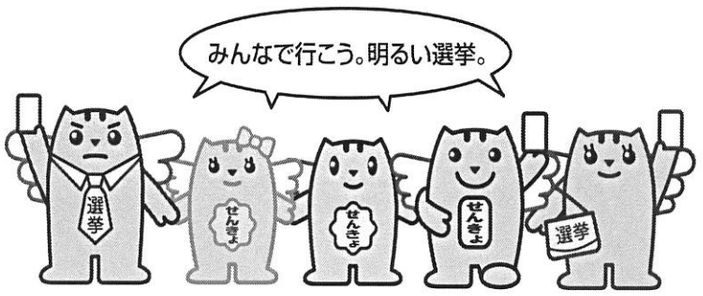
【16夏季一時金、各地域からの意見】

《日検》（評価点）ヽ(・∀・)ノ
- 収益減少のもとで乗率を維持させた事に評価。
- 業績加算を圧縮させ、一律・都市加算に以降させたことは評価。
- 安定した一時金の確保に評価。
- 有額回答指定日に回答を引き出せた事に評価。

《日検》（不満点）（｀ロ´）ｺﾗｯ!
- 要求との関係では不満。
- 要求していない業績回答に不満。
- 昨夏比マイナス回答に不満。
- 乗率への上積みがなく不満。
- 意見集約までの日数が短い。

《日検》（今後課題）（￣∧￣）ｳｰﾝ
- 検数労連としての統一要求。
- 業績加算の更なる圧縮。都市・一律・乗率への以降が必要。
- 若年・中間・熟年層の回答額のバランス改善。

《全検》（評価点）ヽ(・∀・)ノ
- 乗率0.1ヶ月の上積みは評価。
- 昨夏比プラス回答は評価。

《全検》（不満点）（｀ロ´）ｺﾗｯ!
- 要求していない特別評価・役付・調整加算に不満。
- 要求額との関係では低額であり不満。
- 見習職員・契約雇員・準職員の低額回答に不満。
- 調整加算の格差回答に不満。

《全検》（今後課題）（￣∧￣）ｳｰﾝ
- 特別評価の原資は全体配分させるべき。
- 乗率を要求に到達させる努力と知恵が求められる。
- 要求に沿った回答をさせるべく組合主張と全国団結による闘いが重要。
- アルファ回答での支部間格差の解消に向けた取り組み。
- 修正回答を引き出すための粘り強い交渉が必要。
- 対角線交渉でのアルファ回答について、検数労連交渉での取り組みが必要。